

覚えたい四字熟語

- 1 悪戦苦闘 あくせんくとう
○ 不利な形勢のもとで懸命に戦うこと。
- 2 暗中模索 あんちゅうもさく
○ 手がかりのないまま探し求めること
- 3 一挙兩得 いっきよりょうとく
○ 一つの行為で二つの利益を得ること
- 4 一進一退 いっしんいったい
○ 進んだり退いたりすること
- 5 一心不乱 いっしんふらん
○ 一つのことに関心を集中するさま
- 6 一日千秋 いちじつせんしゅう
○ 一日が千年ほどの待ち遠しいこと
- 7 一長一短 いっちょういつたん
○ 長所もあるが、短所もあること
- 8 因果応報 いんがおうほう
○ 相応の報いが必ずあること
- 9 栄枯盛衰 えいこせいすい
○ 栄えたり衰えたりすること
- 10 我田引水 がでんいんすい
○ 自分の都合のよいように計らうこと
- 11 勸善懲悪 かんぜんちょうあく
○ 善行を勧め、悪事をこらしめること
- 12 疑心暗鬼 ぎしんあんき
○ 疑い始めると信じられなくなる
- 13 喜怒哀楽 きどあいらく
○ 喜び、怒り、悲しみ、楽しみの感情
- 14 金科玉条 きんかぎよくじょう
○ 守るべき一番大切な法律やきまり
- 15 公平無私 こうへいむし
○ 公平で私的な感情を交えないこと
- 16 公明正大 こうめいせいだい
○ 公平で、良心にはじない正しいさま
- 17 独立独歩 どくりつどっぽ
○ 人に頼らず、自分の力で信じる道を行くこと
- 18 試行錯誤 しこうさくご
○ 試みと失敗を重ねて解決策を探すこと
- 19 自縄自縛 じじょうじばく
○ 自分の行動で身動きがとれなくなる
- 20 質実剛健 しつじつごうけん
○ 派手さがなく真面目であること

- 21 自暴自棄 じぼうじき
○ やけになって自分を粗末に扱うこと
- 22 縦横無尽 じゅうおうむじん
○ 自由自在であること
- 23 取捨選択 しゅしゃせんたく
○ よいものを取り、悪いものを捨てること
- 24 首尾一貫 しゅびいっかん
○ 初めから終わりまで一筋に貫くこと
- 25 枝葉末節 しょうまつせつ
○ 主要でない細かいことがら
- 26 針小棒大 しんしょうぼうだい
○ 小さいことを大げさに言うこと
- 27 青天白日 せいてんはくじつ
○ 疑いが晴れて無罪が明らかになること
- 28 前後不覚 ぜんごふかく
○ 前後の区別がつかないほど正体がないこと
- 29 千載一遇 せんざいいいちぐう
○ めったにないすばらしい機会
- 30 千差万別 せんさばんべつ
○ いろいろな違いがあること
- 31 千変万化 せんぺんばんか
○ 種々さまざまに変化すること
- 32 朝令暮改 ちょうれいぼかい
○ きまりや命令がころころ変わる
- 33 東奔西走 とうほんせいそう
○ あちこち忙しく駆け回ること
- 34 馬耳東風 ばじとうふう
○ 人の意見を聞き流すこと
- 35 傍若無人 ぼうじゃくぶじん
○ 勝手気ままにふるまうこと
- 36 本末転倒 ほんまつてんとう
○ 重要なこととささいなことをとり間違えること
- 37 優柔不断 ゆうじゅうふだん
○ ぐずぐずして決断がにぶいこと
- 38 有名無実 ゆうめいむじつ
○ 評判ばかりで実質が伴わないこと
- 39 用意周到 よういしゅうとう
○ 万に備えて十分な準備をすること
- 40 竜頭蛇尾 りゅうとうだび
○ 初めは盛んで、終わりは衰えること

- 4 1 春夏秋冬 しゅんかしゅうとう
○ 四季 一年のこと
- 4 2 三寒四温 さんかんしおん
○ 冬から春先にかけての典型的な気候の型
- 4 3 古今東西 ここんとうざい
○ いつの時代でも世界のどこでも
- 4 4 四方八方 しほうはっぽう
○ 周囲 まわり全体
- 4 5 前後左右 ぜんごさゆう
○ 前と後ろ、右と左
- 4 6 右往左往 うおうさおう
○ 混乱してうろたえ、うろうろすること
- 4 7 二束三文 にそくさんもん
○ ただのような値段
- 4 8 弱肉強食 じゃくにくきょうしょく
○ 弱いのを犠牲にして、強いのが栄えること
- 4 9 公私混同 こうしこんどう
○ 公私のけじめをまぜること
- 5 0 絶体絶命 ぜったいぜつめい
○ もうとても助かる見込みがないこと
- 5 1 起死回生 きしかいせい
○ 滅亡の危機からよい状態にすること
- 5 2 半信半疑 はんしんはんぎ
○ 半ば信じ、半ば疑うこと判断にまようこと
- 5 3 言語道断 ごんごどうだん
○ もってのほか またつくひどいこと
- 5 4 一石二鳥 いっせきにちょう
○ ひとつのことで二つの利益を得ること
- 5 5 一部始終 いちぶしじゅう
○ 初めから終わりまでの詳しい事実
- 5 6 賛否両論 さんぴりょうろん
○ 賛成と反対、両方の意見があること
- 5 7 臨機応変 りんきおうへん
○ その場の状況に適切に応じること
- 5 8 大器晩成 たいきばんせい
○ すぐれた器量の人遅く大成すること
- 5 9 晴耕雨読 せいこううどく
○ 自由きままな生活を送ること
- 6 0 共存共栄 きょうそんきょうえい
○ 立場の違うものがともにさかえること
- 6 1 起承転結 きしょうてんけつ
○ 句のならべかた ものごとの組み立て、順序
- 6 2 異口同音 いくどうおん
○ 口をそろえて同じことを言うこと
- 6 3 意味深長 いみしんちょう
○ 表面にあらわれない深い意味が込められていること
- 6 4 因果応報 いんがおうほう
○ 行いに応じて報いが必ずあること
- 6 5 花鳥風月 かちょうふうげつ
○ 自然の美しい風物
- 6 6 以心伝心 いしんでんしん
○ 無言のうちに心が通じ合うこと
- 6 7 温故知新 おんこちしん
○ 昔からの考えを学び直して、新しい考えを引き出すこと
- 6 8 単刀直入 たんとうちよくにゆう
○ 前置きぬきですぐに要点に入ること
- 6 9 誠心誠意 せいしんせい
○ 真心を持って人につくすこと
- 7 0 適材適所 てきざいてきしょ
○ その人にふさわしい仕事につけること
- 7 1 暴飲暴食 ぼういんぼうしょく
○ むやみに飲み、たくさん食べること
- 7 2 無病息災 むびょうそくさい
○ 病気なしで元気であること
- 7 3 自画自賛 じがじさん
○ 自分で自分のことをほめること
- 7 4 空前絶後 くうぜんぜつご
○ 過去、将来にわたって例のないこと
- 7 5 大同小異 だいどうしょうい
○ ほとんど同じであること
- 7 6 諸行無常 しょぎょうむじょう
○ すべてうつりかわり、同じ状態にとどまることがないこと
- 7 7 十人十色 じゅうにんという
○ 人それぞれ違うこと
- 7 8 先手必勝 せんてひっしょう
○ 先にしかけて勝つこと
- 7 9 油断大敵 ゆだんたいてき
○ 油断してすぐにだめになること
- 8 0 不言実行 ふげんじっこう
○ だまって実行すること